



http://www.geocities.jp/mgtkp521

e-mail:mgtkp521@ybb.ne.jp

2016年
春季号

4月1日発行

VOL. 26

コミュニティ通信 IKEDA

ズバリ! 倉田市長にインタビュー「10年目の地域分権制度の今後はどないすんねん」	2P
橋口ゼミ 新メンバーで今年も「子育てのまち池田」に一役かいまっせ	3P
まちかどニュース(MTP・防災フェスティバル)・町会・自治会だより	4P

平成28年度事業提案 協議会提案額 8,102千円

● 継続事業 ★ 新規事業

- 「小さな絵本館」
推進事業(イベント開催・蔵書購入等)
- いけだ学園マイタウンプロジェクト(MTP事業)
(2回/年)
- 市民レクレーション大会事業(10月)
- キッズランド支援事業 ★ 緑の絨毯域を設ける(池小)
- ★ 校庭開放委員会備品支援事業

にぎわいのあるまち
子育てのまち部会

3,356千円



- グリーンベルト塗装事業
ハローワーク～東向き50m・他(2期)
- 辻が池公園廃土処理ピット劣化の補修

すこしやすいまち部会

800千円

- ★ 交通安全看板設置(菅原西6-6～中央公民館東北角)
- 地域自主防災組織資材配備事業(綾羽1丁目)
- 防犯カメラ補修事業(辻が池公園2基 1回/年)
- 地域13自主防災会参加による合同防災訓練支援
- ★ 自動体外式除細動器(AED)4共同利用施設設置

安全・安心のまち部会

2,336千円

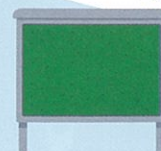


- 協議会事務所運営事業
- 事務事業費
- コミュニティ紙発行事業
(7,000部カラー刷 3回/年)
- 掲示板補修設置事業(辻が池・藤本米穀店南)



事務局・総務・広報

1,610千円



ズバリ! インタビュー

10年目を迎える「地域分権制度」このままでいいの？ 発案者の倉田市長に本音を聞いてみました！



10年目を迎えるにあたり広報いけだ2月号で「原点到立ち戻る」とありましたが、今までの評価と今後の検証をお伺いします。

職員・市民・サポーター・コミュニティの方々・議員を含めそれぞれの考え方・捉え方に温度差があり制度が定着しているとは言えない。今、地方創生が叫ばれ自治体が消滅するかもと言われているこの時代の中で必要な制度である。大胆な見直しなどで議論の場を設け、改めて問いかけが必要だと考える。

もう一つは、分権制度に精通した学識経験者、例えば神野先生のような著名な学者を座長とした専門委員会を設け、検証してもらうのもいいかと思っている。

今後の組織づくりにおいても入会者が少なく特に若年層の入会が少ない事について

やはり市民の関心をどうするか、若手も必要だが働き盛りは難しいので65歳の後輩をつくることから考えていけばと思いますよ。それ

と、目指したい事が2つあって一つは、コミュニティの拠点をつくる。まだ半分しかないが、そしてもう一つはそこに会長とは別に事務局長（有償）を据える。まさに「ミニ行政」でコミュニティの小学校区が区の役割のようになつて市と協働の関係になれば理想です。そうすれば、行政よりも経費が減り事業効率は上がる、まさにコンパクトになる。

継続事業が多くなり新規の事業枠を増やす余裕がない状況について

地区事業から市へ移管させる方法もある。例えば「絵本の館」を有償ボランティアでやつてもらっているがそれを市で受けてもらえらるようにできないか。維持費を新規事業に振り向けられるでしょうし、立ち上がった防災組織も危機管理課で運用できないか。とはいえ地域分権は公平性を求められるので地域の事業を引き受けるより予算を増やすしかない。

予算増額という声もあるが、予算消化のために提案する地域もあれば次期へ繰越する地域もあり提案

力に些か不安がある。税金が、要は原資であると思っただけだいているかですね。

地域をまたがる事業提案についてはどうでしょうか

双方の協力・協調でやればいい。一例として、秦野・五月丘地区、伏尾台・細河を繋ぐコミュニティバスを走らせる、そんな試みできないものか。

ソフト事業への転換が言われてますが

最近予算提案トレンドがソフト事業に移ってきているが、残らないものに予算を費やすのが良いかどうか。個人的には8割ハード事業が望ましいと考えている。阪急文庫側道歩行者スペース拡張事業はいいものが出ましたね。最終的には地域の考えで優先順位を考えればいい。

NPOとの関係・コミュニティが支援するという考えはどうでしょうか。NPO化も含めて。

コミュニティ自身がなつてもいい。地元が活発になり

ますから。関係はあくまでもパートナーと言う考えでも活用もある。

コミュニティビジネスができる環境とならないか考えている。例えばインスタントラーメン記念館の来館者相手のビジネスなど工夫すれば可能では。

最後にコミュニティへの期待を

予算要望枠の増額。今でも大変でしょうが「倍くれ」と全コミュニティから出るようになれば、そうなるでしょうね。

あとは、リーダー養成講座に100名目標で受講者が出ることを期待している。



「地域分権は、池田市を救う玉手箱」であり地方創生時代のトップランナーを池田市が目指します。この制度のトップランナーは池田コミュニティが担ってもらえれば...と思います。

「地域分権」に対する市長の熱い情熱が伝わってきたインタビューでした。

お忙しい中、長時間に渡り取材にご協力いただきましたことにお礼申し上げます。

池田地域コミュニティ
推進協議会 広報部会

この記事は、紙面の都合上部を抜粋して掲載させていただきました。

《子育てのまち》といわれるように

—— 関西大学政策創造学部「橋口ゼミ」地域コミュニティへの参加から ——



池田をより一層魅力あふれる街にしたいです

森 淳也



大学生だからこそ出来ることを見つけて更に過ごしやすい池田になるように全力で頑張ります!

永津 円花



池田の皆さんに求められるような活動を、たくさんしていきたいです

乾 夏実



コミュニティによる、よりよいまちづくりに少しでも貢献できるように精一杯取り組みます

坂井 美幸

私たちの活動から

私たちは、池小地域が「子育てのまち」と言われるような提案のお手伝いをするに特化して活動してきました。

その方策として、昨年は平和の集いで、池中生との合同企画で「けん玉コーナー」、ブース出展や企画などを、防災フェスティバルでは「わなげ」、「子育てクイズ」、「子育てお悩みリレー」を、また「子育てMAP」の配布も行いました。

私たちの活動から今年のMTPフェスティバルでは昨年の活動から得た「手作り子育てマップ」を配布しました。

さらに、お母さん50名、子どもたち300名からアンケートをもらい、不満や要望を聞きました。

そうした中から特に、子育ての悩みと子供たちの要望の一部を次のようにまとめました。

「子育てお悩みリレー」で分かったこと

- ① 施設やサービスを知っていても利用しづらいグループに上手く入っていけない
- ② 悩みを打ち明けられる場所が少ない
- ③ 理想的解決方法が分かっても生活の中での実践がむずかしい
- ④ 子育て施設や支援サービスをあまり知らない
- ⑤ 施設の多くが利用時間帯が平日昼間のみで働く親が利用できない

子育ての悩みの軽減や解消は

- ① 施設やサービスがあるだけでは不十分で、子育て支援制度や施設が、もっと親しみやすいものである必要がある
- ② 施設利用のきっかけづくりやわかりやすい継続的な情報発信があること
- ③ より現実的なアドバイスや救済提案が得られること
- ④ 安心して利用できるよう、物理的にも精神的にも孤立しないように地域が配慮すること
- ⑤ 働く親への視点や配慮があること
- ⑥ 学校以外で安心して遊べる「遊び場」がほしい(子どもたちからの意見)



地域でできる子育ては

「子育て支援=親の支援」だと考えています。なぜなら、親のストレスと孤立は家庭内環境の悪化につながるからです。

そこで、実家を離れ新たに暮らし始める若い世代のお母さんを、余裕のできたお母さんに、実際の子育て経験談が聞けるようなシステムも一案だと思います。

私たちも「働く世代の子育て」に注視した活動をしていきます。



第8回「いけだ学園MTPフェスティバル」開催



2月13日(土)10:30~16:00 池田小学校で行われ、約600名が参加、体育館では「池田学園ジョイントコンサート」と銘打って、池田小・呉服小・池田中の三校合同演奏会が演じられました。校庭のブースでは、模擬店や橋口ゼミ生も参加。

「わなげ遊び」には多くの児童が楽しんでいました。

大学生さんの企画した「わなげ」「子育て悩みリレー」が楽しかったわね

27年度 防災フェスティバルが開催されました

昨年11月15日(日)9時~12時 初めて子どもを交えての防災行事が池田小学校校庭と体育館で開かれ、およそ450名が参加しました。

みんなで体験しよう! 「はしご車乗降」や「消火訓練」、「119通報」などや「ふわふわゴリラ」の登場もあって“楽しさ”をアピールした防・減災を学習したフェスティバルでした。

なお、この催しには「橋口ゼミ生」も当コミュニティのお手伝いとしての企画(3面参照)を持って初参加してくれました。



町内会・自治会だより

町内会・自治会名	行事紹介
栄本町町内会	4月中旬 町内会主催 池田呉服座観劇会(弁当付き)を開催 5月中旬 老人会主催 託明寺においてビンゴゲームなどで楽しく過ごします
城南西町会	7月中旬 町会主催 城南会館広場において「納涼まつり」焼き鳥、焼きそば、飲み物などで大人から子ども、高齢者を交え一同揃って懇親の集いです
ザ・ライオンズ池田	4月 2日(土) 辻が池公園でお花見大会 7月30日(日) ザ・ライオンズ池田内ふれあい広場で夏祭り、夜店など
建石町町内会	5月14日(土) 2時~ 町会主催 ほほえみの園1階で「第3回認知症ほほえみカフェ」を開催します
西本町町会	5月30日(月) ごみゼロの日 町会と子どもたちを交えて恒例の清掃作業を行います

あなたの声を

届けてください

池小校区
コミュニティまで

「こんなこと、こんなもの
こうすれば」もっと賑やかで
楽しく 安心して過ごせる
街になるのでは・・・

皆さんの情報をお寄せ下さい

ご連絡は事務所へ(池田会館内)
新町 1-8 水・木・金曜日

TEL/FAX 734-8056